

○ 石垣牛流通協議会総会、植村会長らを再任、PRなどに抛出する奨励金の導入を承認

石垣牛流通協議会（会長＝植村光一郎・ニイチク監査役）は17日、東京都新宿区の京王プラザホテルで2023年度総会を開き、22年度事業報告、23年度事業計画・収支予算

などの議案を原案通り承認した＝写真①。林芳正外務大臣をはじめ、中山義隆石垣市長、前田典男JAおきなわ代表理事長、姫田尚中央畜産会副会長、中林正悦全国肉牛事業協同組合理事長ほか、総会には多数の来賓が出席した。役員改選では、植村会長、笹英典副会長（エムアイフードスタイル執行役員商品統括本部長）らが再任された。チェックオフ制度の改正案として、プロモーション実行や招致活動などに抛出する奨励金の導入が承認された。

開会で植村会長（＝写真②）は林外務大臣ほか来賓への感謝を述べ、「石垣牛流通協議会では、まず消費者に食べてもらうための取組みを実践している。消費者に石垣牛を食べてもらい、そのおいしさのわけを知ってもらう。次にその生産工程の優位性について、きちんとした形でアピールしていく。その後には、生産者、流通事業者、消費者がそれぞれ石垣牛を食べることに感謝してフードチェーンを作っていく。さらには、現在構築を進めている、首都圏に向けての需給関係が完成した暁には、世界に向けて石垣牛の需給関係を求めるといった形で価格の安定を図ろうと考えている。このような形で切磋琢磨しているので、協力をお願いしたい」とあいさつした。



来賓からは、林外務大臣ほか4人があいさつした。林外務大臣（＝写真③）は、「植村会長とは、私が農水大臣を担当していた時からの長い付き合いになる。今どんどん和牛は世界で売れるようになり、恐らく生産や流通にまだ課題はあるだろうが、世界で押しも押されぬブランドとなっている。フードエキスポで訪問した香港や、マカオなどスーパーに行くと、我々の和牛が米国や英国産の牛肉の10倍売れるようになっている状況で、大変嬉しい限りだ。これからもこういう大きな流れの中で、ブランド化することによって付加価値をつけて、なるべくそれが川上にある生産者の元に還元されるよい流れを、この協議会で作ってもらったと思っている。皆さまの今後の生業のさらなる発展をご祈念する」とあいさつした。

続いて、中山石垣市長が石垣牛の供給量増加と品質向上を目指すとして述べ、「国際戦略なども考えており、石垣島の食肉センターが今、マカオとタイのHACCPの資格を取得している。今後、香港とほかの仕様にも生かせるような衛生管理体制にしようとしている。国内でも知名度を上げ、東京を含めた大市場のなかで満足できる量を供給しながら、次の手を考えていきたい」と述べた。

当日は記念講演会も開催され、伴光氏（農林水産省畜産局食肉鶏卵課課長補佐）が「我が国の最近の牛肉輸出をめぐる情勢」と題し、講演を行った。

○ 「仮面ライダー ギーツ」フィッシュソーセージ 第3弾一丸大食品

丸大食品は5月下旬から、「仮面ライダーギーツ」の登場キャラクターを起用したフィッシュソーセージの第3弾を発売する。タッチ操作で仮面ライダーとシンクロする最新ゲーム機「仮面ライダーバトルガンバレジェンズ」で遊べる、丸大オリジナルガンバレジェンズカード1枚入りのフィッシュソーセージ。番組ストーリーの展開に合わせ、パッケージ

デザインとカードのラインアップを一新している。全8種類のカードのうち、1種は金箔がキラキラ光る仕様の豪華なデザインで、コレクションとしても楽しめる。内容量40g（4本入）。

